

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ありすの家こどもデイサービス博多		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 23日		～ 2025年 1月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	4
○従業者評価実施期間	2024年 12月 23日		～ 2025年 1月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	療育センター出身の保育士が2名常勤で在住しています。個々の発達段階に合わせて療育プログラムを立案しています。1週間ごとの同じ内容の療育を行い、経験を積み重ねています。毎日療育に関する振り返りの時間を設けて、次回につなげています。	朝から利用されているお子さんは、集団療育を提供。年齢層も様々ですが、社会性を学びながら、スタッフ全員で協力し合い、楽しい時間を提供しています。季節を感じられるような療育を提供、個々の発達課題にあわせて立案、実施しています。また、個々の課題を集団の中でも取り組めるようにしています。	重症心身障害児への療育経験のある保育士が不足しています。もっと働きやすい環境になるようになったら良いなと思います。
2	理学療法士が1名在住しリハビリを行なっています。	関係機関と連携をとり、保護者の方と情報交換を行いながら実施しています。利用者さんがリラックスできる雰囲気を作り他のスタッフも協力して行っています。	専門職を募集していますが、なかなかいません。専門性のあるスタッフが障害児通所支援への理解が高まり、雇用が増えることを願います。
3	管理者を含め経験豊富な看護師が5人在住しています。呼吸器を装着している利用者さんも多く、様々な医療的ケアに対応しています。	保護者の方と情報交換を行い、医療的ケアを実施しています。急変時には往診医と密に連携をはかり、柔軟に対応しています。保護者の方が安心して、お子様を預けられるように看護師の指導を行っています。	看護師をもっと配置できるように加算等見直しを希望します。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	呼吸器を使用している児童が多いので、機械類などの配置によってスペースが狭く感じることです。	ベッドや呼吸器の配置を注意しています。呼吸器疾患の児童が重ならないように利用日を調整しています。	
2			
3			